



わが町 4 目 福

北海道

熊石町



▲熊石あわびの里フェスティバル

▶日本海を望む追分ソーランラインの夕景



この自然公園は、海岸段丘が連なり周辺一帯に奇岩が多いなど、変化に富んだ海岸美を誇っています。

南北に連なる渡島山脈により、平坦地が少なく、町面積の93%が森林に覆われた大自然で

0 km続く海岸線・追分ソーランラインの中核となる檜山路に位置しています。海岸線は約15 kmが岩礁地帯で、隣接する乙部町や大成町など6町にまたがる面積1万7000㎡の檜山道立自然公園に含まれます。昭和35年に指定された

熊石町は渡島半島西海岸の中央部にあり、東は乙部町、西は大成町、北は渡島山脈をはさみ、北檜山町と八雲町に隣接しています。函館から小樽まで、日本海沿いに50 km続く海岸線・追分ソーランラインの中核となる檜山路に位置しています。海岸線は約15 kmが岩礁地帯で、隣接する乙部町や大成町など6町にまたがる面積1万7000㎡の檜山道立自然公園に含まれます。昭和35年に指定されたこの自然公園は、海岸段丘が連なり周辺一帯に奇岩が多いなど、変化に富んだ海岸美を誇っています。

熊石町は渡島半島西海岸の中央部にあり、東は乙部町、西は大成町、北は渡島山脈をはさみ、北檜山町と八雲町に隣接しています。函館から小樽まで、日本海沿いに50 km続く海岸線・追分ソーランラインの中核となる檜山路に位置しています。海岸線は約15 kmが岩礁地帯で、隣接する乙部町や大成町など6町にまたがる面積1万7000㎡の檜山道立自然公園に含まれます。昭和35年に指定されたこの自然公園は、海岸段丘が連なり周辺一帯に奇岩が多いなど、変化に富んだ海岸美を誇っています。



▲バンガローなどのほかつりーハウスも立つ青少年旅行村

す。この大自然を活用した熊石休養村がわが町自慢のひとつで、32万㎡の広大なフィールドがレクリエーションゾーンとなつていま

す。緑深い森には平田内川が流れ、青々と茂る樹木と清流のおかげで、さまざまなおかげで、さまざまな昆虫の楽園と化しています。ここには、テントサイトのほか、キャビンやバンガローなどを備えた青少年旅行村があります。青空の下、ご家族で、友人同士で存分に自然に親しんでみてはいかがでしょう。キャンプ泊の夜は、ぜひ満天の星空を見上げてください。時間



▲アワビ料理のフルコース

に追われる日常を忘れ、ぐっすり眠った翌朝はすっきりと目覚め、心の洗濯となるでしょう。

また、広い敷地内にはひらたない温泉が湧き、日帰り入浴が楽しめるあわびの湯を併設する国民宿舎ひらたない荘が立っています。ゆったりと湯に浸かれれば、リフレッシュユマचाがいなし。近年はこの

温熱を利用したアワビの種苗生産が盛んで、宿泊者がアワビ料理を賞味できるのはもちろん、積極的に「あわびの里くまいし」としての町づくりに取り組んでいます。

ほかにも町自慢を並べればきりがありませんが、まずはご自分の目で確かめにいらしてください。海岸線を走る追分ソーランラインだけでなく、渓谷美を望む雲石スカイラインも爽快なドライブコースとなっておりますので、どうぞ足を運んでください。

◆問合せ先◆

熊石町役場 企画課長 松田紀嗣

☎01398-2-3111

ホームページアドレス

<http://www.hakodate.or.jp/kumaishi>

「わが町自慢」と題したこのコーナーでは、皆様からの町自慢情報を募集しております。道内外を問わず広く紹介していきますので、どしどしご投稿ください。今回は、熊石町役場に勤務される企画課長の松田紀嗣さんに熊石町の魅力を紹介いただきます。

に追われる日常を忘れ、ぐっすり眠った翌朝はすっきりと目覚め、心の洗濯となるでしょう。

また、広い敷地内にはひらたない温泉が湧き、日帰り入浴が楽しめるあわびの湯を併設する国民宿舎ひらたない荘が立っています。ゆったりと湯に浸かれれば、リフレッシュユマचाがいなし。近年はこの